

第42回 国家戦略特区諮問会議資料

養父市中山間農業改革特区

～養父市の挑戦～

令和元年12月18日

養父市長 広瀬 栄

養父市中山間農業改革特区の新たなチャレンジ

株式会社Amnakによるスマート農業技術の
開発・実証プロジェクト

中山間地における農業の課題:

- ・長大法面の草刈作業が重労働、危険な作業
- ・高低差のあるほ場での農薬、肥料の散布が重労働 等々



課題解決のために・・・

スマート農業を実践し労働の省力化、
収穫量の増加を目指す！！

主な導入農機具



無線遠隔草刈機



肥料・農薬散布
ドローン



自動運転
ロボットトラクタ

プロジェクト参画機関

養父市、国立大学法人京都大学、ソフトバンク株、
クボタグループ、マゼランシステムズジャパン(衛星受信機開発会社)



企業の農地取得を活用した
特区事業者の資本力・技術力
そして地域の協力があってこその実現

そのために！

- ◇ 企業の農地取得の特例期限
の延長！
- ◇ 特例内容の拡充



これらの取り組みを広げていく

そのために！

- ◇ 地域限定型規制のサンドボッ
クス制度の活用
- ☞ 散在する農地を結ぶ
公道を含めたトラクタ等の自動走行の実現
- ☞ ドローンの目視外飛行の実現

養父市中山間農業改革特区の新たなチャレンジ

職場におけるオンライン服薬指導の実施

【課題】

- ・ 計画認定（H30.6.14）後、R元年3月から現在までに、登録された全3薬局で計5人の患者にオンライン服薬指導を実施中。
- ・ 患者のうち、仕事を持つ現役世代の利用者に、就業時間と薬局の営業時間が重複し自宅で指導を受けることが困難な状況が発生。

全国に先駆けてオンライン服薬指導に取り組む特区自治体として、実態を踏まえ、職場への拡充を提案！！ ※ R元年8月

令和元年11月・実現可能に！
同月、職場におけるオンライン服薬指導を実施！

「テレビ電話と判定キットを活用したインフルエンザの罹患判定並びに診療」の実施

「オンライン」最大の特徴である、医師・薬剤師と患者の物理的な「隔離性」を活かし、全国で予防・対策が求められているインフルエンザについて、診療（判定検査、診断）～服薬指導・抗インフルエンザウイルス薬の処方まで、遠隔での完結を目指す。



インフル症状!?

【医師によるオンライン診療】

問診、判定キットによる検査、診断

【薬剤師によるオンライン服薬指導】

抗インフルエンザ薬を速やかに患者へ

目指すのは

住民が安心して暮らせる豊かな農山村地域の創出と地方創生の実現！！